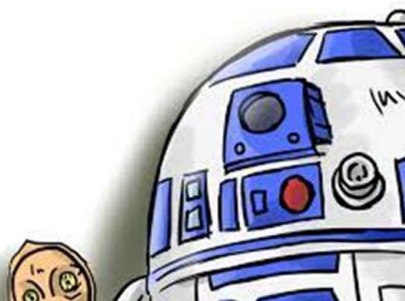


医療経済学

1回目



医療経済学とは

「医療サービス」が適切で効果的に提供され、その結果、人々が幸福になることを目指す学問といえる。

具体的には、医療サービスの環境整備、価値創造、方法論や倫理面の検討・分析を行って、社会における医療のあり方を提言することといえる。



メソポタミア文明
BC4000～
ギルガメッシュ叙事詩
死の恐怖
友情の光輝
親友の死
ゾンビの原型

エジプト文明 BC3500～
死後の再生を信じる文明
アヌビス神は冥界神で、ミイラ作りの神
第二の誕生を得るために肉体をミイラとして保存した
ミイラ作りの神官は高い地位を持つ

エドウィン・スマイス
パピルス
内臓の形や病気の発生、
外科手術、薬の調合などが記されたパピルス









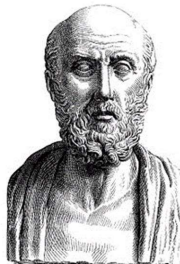

ギリシャ文明 BC3000~
神殿医学ーアスクレピオス神殿
ヒュギエイア 薬の神様

アロマオイルの使用
 リリーオイル→鎮痛効果
 サフラン→通風薬

二匹の蛇の杖は
 ヘルメスの杖
 医学とは関係がない
 ヘルメスは商売の神様
 一橋大学などの校章で
 使用されている




BC2000年頃~
アスクレピオス神殿に
病人が集まり、
原始的な医療施設としての
機能を持つようになっていった。





ヒポクラテス BC460~BC370年頃

医学を原始的な迷信や呪術から切り離し、
 臨床と観察を重んじる経験科学へと発展させた人物。
 自身は著作や施設を残さず、ヒポクラテスの行いは
 弟子たちの記録が残っているだけである。
ヒポクラテスの誓いは、現在の医療倫理の柱にもな
っている。

ヒポクラテスの誓い

華佗 (かた、? - 208)
 中国後漢末期の薬学・鍼灸に非凡な才能を持つ伝説的な医師。
 高い技術と倫理観を持ち、権力に屈する事を拒んだため、権力者に殺された。

ユナニ
 モンゴル医学
 韓医学
 漢方
 中医学
 狭義の東洋医学
 外医学
 アールグーグ
 シッタ

ヨーロッパ医学の発展

紀元後の医療は11世紀まで発展は緩慢だった。ナポリ南のサレルノ医学校が医師免許を発行。12世紀にヨーロッパ各地に医科大学が創設され、医学が発展することとなる。



ペスト

1347年、港に停泊した大型帆船から広がったと考えられている。ネズミたちにはペスト菌を持つノミが付いていた。1347年から4年間、ヨーロッパを襲った黒死病のパンデミックでは、世界人口4億5000万人のうち1億人が命を落としたとされる。



世界におけるペスト菌の分布状況

2016年3月世界保健機関(WHO)作成



中世の病院

現ロイヤル駐屯隊教会は中世の病院であった。



日本の最初の病院

日本で最初の病院は、1557年にポルトガルの医師兼宣教師のルイス・デ・アルメイダによって、現在の大分県大分市にあったデウス堂の隣地に開設された施設であるといわれる。

そこでは、外科、内科、ハンセン病科を備え、入院施設も備えていた。

この施設が西洋医学を初めて導入した場所であり、以後現在に至るまで、日本における医師の数の偏在につながっているといわれている。



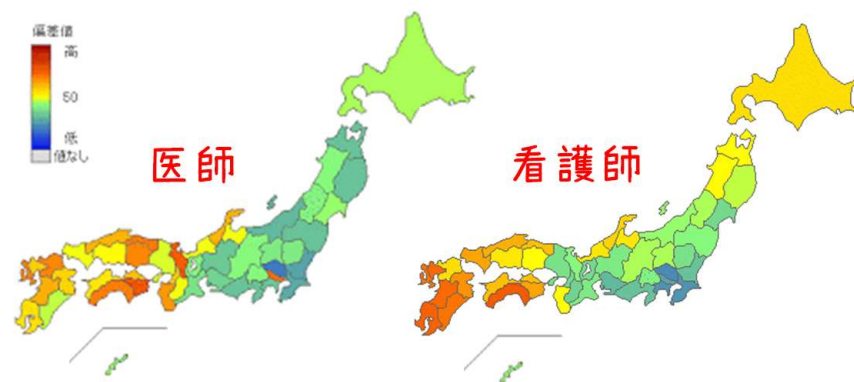
『小石川養生所』は、大分のアルメイダの病院の166年後の1723年、第八代将軍徳川吉宗の命により設置された漢方医学の無料診療所。

赤ひげ先生として知られる町医師小川笹船(しょうせん)の目安箱への投書により、将軍吉宗が町奉行大岡忠相(ただすけ)に命じ設置した。

名君(吉宗)、名医(小川笹船)、名参謀(大岡忠相)が揃っていたから実現した施設ともいえ、困窮した下層民の救済が目的のため無料診療とした。開設当時は、薬草の効能を試験することが密かな目的であるとする風評が立ち、訪れる者は少なかったという。



日本における医療従事者の人口比率分布



フローレンス・ナイチンゲール

(Florence Nightingale, 1820年 - 1910年)



イギリスの看護師、統計学者、看護教育学者。近代看護教育の母。病院建築でも才能を発揮した。クリミア戦争(1853-56)での負傷兵たちへの献身や統計に基づく医療衛生改革で著名。国際看護師の日(5月12日)は彼女の誕生日。ロンドンの聖トマス病院附属ナイチンゲール看護学校を設立、これは世界初の非宗教系看護学校で、現在はキングス・カレッジ・ロンドンの一部となっている。ギリシア哲学についても知識が豊富で、オックスフォード大学のプラトン学者とも親しく交流した。

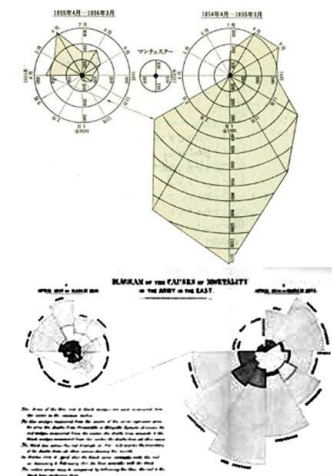
陸軍病院の死亡の多くは戦争受傷ではなく、「病棟の劣悪な衛生環境にある」ことを突き止めた。

この事実を様々な集計・統計図にして、現状をイギリス議会に訴え、イギリス陸軍病院の衛生環境が見直され、各病院で改革が進められた。

1860年には集められた基金をもとに、ナイチンゲール看護学校を創設する。

卒業生は世界中に渡り、世界の医療を塗替えて行った。

現在では当たり前となっているナースコール、ナースステーション、病院のパビリオン設計に至るまで、ナイチンゲールが考案したものである。



パビリオン建築方式

本来は野営のためのテントを指すが、**分棟形式**で建てられた建物の一棟を指す。

建物の**配置が蝶**のようなのでその形式をパビリオン・タイプと呼ぶ。

また、主屋に対して**付属棟**(翼部)をパビリオンと呼ぶこともある。



・進歩していないときは、退歩しているのよ。
だから、目標を高く掲げなさい。

・天使って、美しい花をまき散らしてなくて、
苦悩する人のために戦う存在なのよね。

・人生を生きるには、もっと修練が必要よ。

・看護を行う私たちって、「人間とは何か」、「人はいかに生きるか」をいつも問い正して研鑽を積んでいく必要があるの。

・愛ってね、人の過ちや意見の対立を許してあげられる存在なの。

・恐れを抱いた心では、ほんとうに小さなことしかできないわよ。

・私は、すべての病院がなくなることを望んでいるの。



● 私は、すべての病院がなくなることを望んでいるの。

ナイチンゲールの解釈(おそらく)

健康ってさ、平和な世界で「人のあるべき姿」であり、基本なわけ。だから、そんな平和で健康的な社会から見れば、「**不健康な象徴が病院**」だって誰もが考えると思うんだよね。

現代の医療はどうよ

病院の拡大や収益を望む医師や政治家ばかりよね。

私が生きていたら、病院なんか必要のない社会にしてみせるわ。



病院は医療の場としての施設

健康上の問題を持つ人の診療が主な目的である。
 患者の急性期・亜急性期・慢性期等の状態に応じ継続的な治療の必要がある患者について入院加療を行う。

病院の定義

疾病や疾患に対し医療を提供し、病人を収容する施設のこと。
 法律では医療法に則った施設である。

医師法

医師でなければ医業を行ってはならない。
 医行為を診療の補助として行う際は医師の指導・監督・指示同意が必要である。



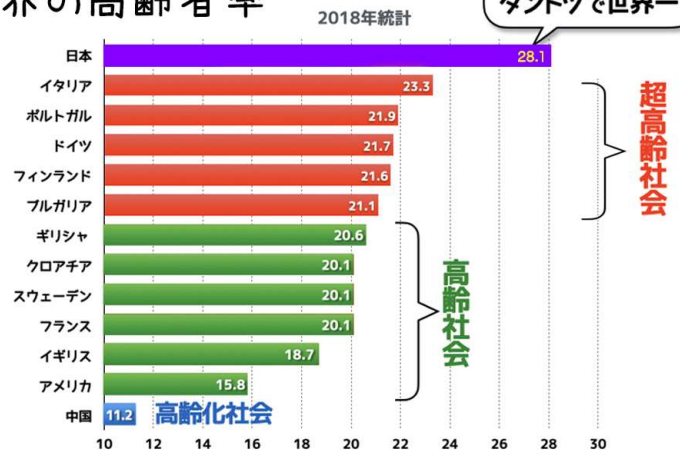
病院という名称
 1868年から始まった戊辰戦争(天皇と徳川の戦争)のとき、官軍は病院と称する傷病兵の手当をする設備を整えた。九州、四国、中国地方を中心とする官軍の施設の多さは、現在でも医師、看護師の人口比率の高さとして残っている。

独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター

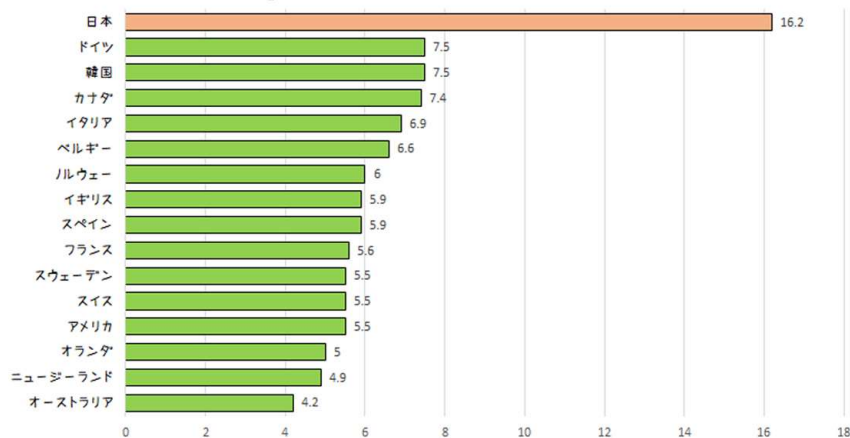
病院規模 485床
 職員数 830人
 医師数 105人
 看護師数 467人
 外来患者数 約800人/日
 入院患者数 約400人/日



世界の高齢者率



国別急性期病床の平均在院日数



社会的入院について

入院は本来、医療処置を要する患者の措置であり、病状が快復すれば退院し、外来診療に移行することが本来のあり方である。

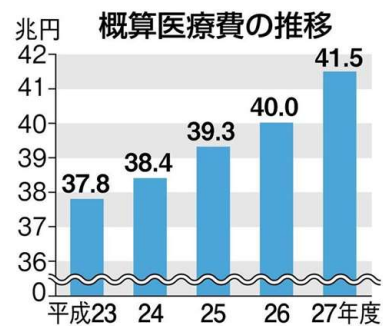
入院の必要性が無いにもかかわらず、患者や家族の都合により、事実上の介護の代替策として行われており、社会的入院と称される。



社会的入院は、退院後の生活困難が背景にあり、社会性衰退という社会問題の側面も持つ。

また、家族に拒否されて入院継続を強られる高齢者問題とも関連する。

医療費の増大は深刻な社会問題になっており、2002年度で31兆円が、2018年度で42兆円に達しており、超高齢社会を背景にさらなる増大は避けられない状況である。



社会的入院は公的医療保険が利用できるため、あまり抵抗なく利用されてしまうが、医療費増額は国の経済を深刻化させている。

不必要な入院でベッドが満床になってしまい、救急患者を受け入れられず、「救急難民」を生み出すといった問題が起こっている。

